

令和6年度第1回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議会議録

日時	令和6年6月20日（木）午前10時
場所	小美玉市役所本庁2階 第2会議室
出席者	<p>【有識者】 馬渡座長、石塚委員、笠原委員、綿引委員、鶴町委員、清水委員、笹原委員、小林委員、戸田委員、立原委員、遠藤委員、深谷委員</p> <p>【事務局】 （市長公室）滑川公室長 （政策企画課）植田課長、海保課長補佐、大槻主幹、皆藤主事 （行革デジタル推進課）箕輪課長、高田課長補佐</p> <p>【コンサルタント】 （株）都市環境計画研究所 大竹、澤田、藤本</p>
配布資料	<p>資料1：小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置条例</p> <p>資料2：小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿</p> <p>資料3：小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン改定趣旨と現状分析（案）</p> <p>資料4：小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定方針（案）</p> <p>資料5：令和6年度小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議スケジュール</p> <p>資料6：小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査実施概要</p> <p>資料7：有識者会議でのタブレット活用について</p>

令和6年度第1回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議会議録

発 言 者	内 容
事務局	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 自己紹介 5 座長の選任 6 協議事項 (1) 人口ビジョン・総合戦略の改定に向けた方針について</p> <p style="text-align: center;">＜資料3 資料4 資料5を説明＞</p>
座長	<p>まずは、第1の人口ビジョン総合戦略の改定に向けた方針ということで、既に事務局からもご説明がありましたが、国立社会保障人口問題研究所、社人研の最新の調査がございまして、これはニュースなどで耳にしているところかと思えます。これを基に本年度、小美玉市でも改定していきましようということが、まず第一目になります。</p> <p>もう一点目ですが、国で、現在の岸田政権が目玉にしている総合戦略デジタル田園都市国家構想、デジ田ですけれども、これに対応して、本市でも、AI、IT、ICT、そしてデジタルに力を入れつつ、新たに計画をつくり直すというようなことで、ただいまご説明があったところでございます。</p>
委員	<p>委員の皆さま方からご意見、ご質問等がございましたら、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>資料3の22ページのところですが、将来人口推計ということで、2016年と2019年と2023年の人口の実績値と推計値が示されております。今回2023年度の数字で人口が少しゆっくり減っていくようになった要因について、何か分析がありましたら教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>今のところ詳細な分析まではできておりませんが、社会移動について、前回の推計時よりは若干の改善が見られるというところはございます。そこが少し影響しているのではないかというふうに考えております。</p>
委員	<p>社会移動というのは、若者が例えば東京に行くなどという数字が少なかったというような物の見方なのではないでしょうか。詳しく分かったらまた教えていただければと思います。</p> <p>また、企業で人口を保つために考えていらっしゃる施策みたいなことがあれば、お聞きできればと思うのですが、そのようなものはありますか。</p>

委員	<p>企業としてどうにかできるものかと言ったら、難しいです。やはり、そもそも（人数の）パイが少ないので、どこの企業でも取り合いになっている状態です。</p> <p>私のところの工場の状況を見ても、募集しても定員に満たないのがここ数年続いている状況ですので、我々からすると、若者たちがずっといないのが、かなり影響しているのかなというふうに思います。大学の誘致や専門学校誘致などがあると、若者たちが集まってくるので、そこから就職してくれる人が増えるのではないかという気はしますが、そもそも、高校生で就職する人が少なくなっている。進学が多くなっているということでしょうけれども、大学は近くにないです。そういうことで、就職する人を集めるのが今、非常に厳しい状況にあるというところなんです。我々として何かできるかと言ったら、お願いに回るしかないといった現状です。</p>
委員	<p>例えば、企業内での婚活や、職場内恋愛などで結婚が決まった方が小美玉市に定住することに、市からの補助金があったり、頑張っている企業に何かプラスになるような施策があったりすると、家庭を持ったり、子ども授かったりできるかと思います。今、保育所をやっているのですが、職場恋愛の方が多いので、職場恋愛が人口を少しでも保つ助けになるのではと思っています。もし今後、企業の考え方の中にも、市や県や国の補助などもいただきながらの取り組みがあったり、頑張っている企業には何か手厚く支援があったりすると、また違うのかと個人的には思っています。</p>
委員	<p>企業として、多分そういう活動をするというのは、仕事以外のことになってくるので、なかなかパワーをそこに注ぐということは難しいです。市で行っている婚活パーティーのようなものもありますので、そういうところに出ていけるように、我々のほうは案内を、各社に回すというようなことはしています。</p>
座長	<p>今のご指摘、さまざまあったところなのですが、非常に重要な点があります。人口推計について、既に社人研などでもいろいろな分析がされています。子育てに関しての、ネガティブな理由だとかポジティブな理由というものが分析されているので、それに沿ってアンケートも当然作ってしかるべきなのです。ですから、分析をしていないということではなくて、ある程度連動させながらもう少し戦略的に考えてほしいということは、後々言おうと思ったことです。</p>
委員	<p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>デジタル化をいろいろしていく中で、マイナンバーカードの普及というのも結構大切なことだと思います。しかし、やはり年齢が上の方ほど、持つのは危ないのではないかという意識がまだある方もいらっしゃると思います。小美玉市の普及率はどのぐらいなのか、把握され</p>

	<p>ていたら教えていただきたいというところです。</p> <p>あと、地元で学校、大学や専門学校があればという話が挙がりました。小美玉市だと中央高校がありますが、この前、文化祭が7年ぶりに公開されるということで見に行きました。そこで、小美玉の食材を使った食べ物を提供していたり、小美玉のきれいな景色をスライドショーで流したり、小美玉への愛着を持つきっかけ作りをやってくださっているのだらうと思いました。そこからさらに、中央高校にはおそらく他の市町村から通っている方もたくさんいるので、そういうところで、小美玉の良さというものがよく伝えられたら、その後も来てくれるように、住んでくれるようになるのではと考えていたところでした。</p> <p>あと、やはりこの辺りの方も「東京へ行きたい」とハローワークへ行かれています方は多いのか、ハローワークさんのほうにお伺いしたいと思いました。</p> <p>ハローワークを利用している方で、実際に都内のほうで働きたいということで、地元のハローワーク石岡をお使いになるという方は、非常に少ない状況です。といいますのも、今非常に労働市場の自由化が行われた関係で、求人のメディア、分かりやすいところだと、タウンワークやリクルートやマイナビなど、ハローワークに出向かなくてもスマホで仕事探しをできる環境が整っていますので、そこが非常に様変わりして、ハローワークに来ていただく方も今、減少傾向にあるというところもあります。ハローワークでの求人の検索の仕方も、電話での相談ができたり、インターネットで全国どこの求人でも見られたり、そういった探し方が変わってきていますので、地元のハローワークで県外の仕事を探すという方はほとんどお見かけしないというような状況です。</p>
委員	<p>割と近隣に住んでいると、この辺りは働く場所がないわけではないのですが、若い人が世帯を構える時に、つくばのほうに行ってしまうとか、あと、水戸も茨大のほうはそんなに変わっていないのですが、今の新しい県庁の周りなどに人口が増えていて、学校のキャパが足りないという話になっていて、やはり若い世代が家を買った瞬間にみんな出ていってしまう、ということがよくあるようです。</p> <p>小美玉市の場合、ここ何年かは特にTX開通の影響のようなところで、人が引っ張られてしまう。最近圏央道が通って、やはり向こうの雇用を逼迫しているというのはよく聞いていて、こちらよりひどいとは思いますが、逆に時給が高くなっている等いろいろな競争はあるというのはつくづく実感しています。人口の推計値が出ていますが、最近の動向について、そういった雰囲気分かるようでしたらお聞きしたいです。属性や転出先等だけではなかなか分からないとは思</p>

事務局

いますが、何か分析があるのかお聞きしたいです。

資料の中に、市内では羽鳥に人口が増えているとあります。見てのとおり、駅の東側が様変わりしたので、そういうところの分析も同じように気になります。茨城の場合、本当に分かりやすく、宅地が造成されたら単純に人口増えるという。バブルや金利が安過ぎるせいもあるのですが。なので、そういう要素が多々あるのは間違いないと思います。しかし、まだ余裕があるとはいえ羽鳥の駅前も無限に土地があるわけではないですし、全員がそこに住めるわけではないので、何年か後にはある程度行き着く数値があるかと思います。その後どうなっていくのかというような、推計や予測などをお聞きしたいです。

あとは、地域性もあるので、それぞれバランスよく人に住んでもらうにはどうすべきなのかが、ビジョンの中に入ってくるとよいかと思っています。地域性の問題なので、地元でみんなのニーズをうまく引き出せれば、うまく施策がはまるのかと思います。その辺りはぜひ、いろいろな研究を進めてもらいたいと思います。

先進的といいますか、「一戸建の貸家に20年程住んだら、そのままその家がもらえます」というような政策をやっている自治体があります。境町などがそうです。一戸建というのがポイントで、やはり子どもがいると、アパート暮らしはストレスがたまってしまい大変だと思います。なので、古民家再生まではいかななくても、一戸建てのモダンな平屋が羽鳥の周りには結構あるので、そういう住みやすいところがあります、というアピールがあるとよいと常々思っているところです。

もう一点。今までの総合戦略などでもずっと出てきているお題目の中で、結婚・出産・子育てのうち、結婚がおそらく一番難しく、それができたら苦労しないというところだと思います。この課題に対する妙案は、なかなか難しく、そこを突破する何かをみんな考えていければと思っています。独自の感想ですが、県の出会いサポートセンターなどの登録を後輩に勧めています、登録費用が何だとかといって、全然やらないのです。そしてマッチングアプリに没頭しているという。そういう、婚活の仕方もある程度アドバイスしないと、みんな泥沼にはまっていくような感じがするので、その辺りもうまく説明できる人がいるとよいと思います。

先ほど委員のほうから、一点目でマイナンバーの普及率というお話がございました。カードを交付、取得している人が8割弱、78%おります。ただ、「実際申請して、まだ手元にない」、「申請して、市役所で預かっている」というような方。これはマイナポイントで、駆け込みでとりあえず交付した方が結構おられて、そういう方を含めると

	<p>80%を超えて申請はされている状況です。その辺りの差があるので、どうやって今後それを交付まで行き着くかというところは課題となっております。</p> <p>それから、先ほどご意見いただいた部分で、小美玉市で明るい部分で申し上げますと、昨年度の転入・転出の状況を見ますと、転入の超過になっております。数十人ですが、転出より転入のほうが多いといった部分。それから出生率が全国は1.2のところ、本市は1.4というところで、県内でも8番目という部分です。</p> <p>また、先ほど羽鳥のほうのお話がありましたが、小美玉市は石岡市と比較しますと都市計画の線引きがされていないということで、どこでも住宅が建てられて、比較的地価が安いことから、羽鳥駅の近くで人口が増えているといったところです。</p> <p>この辺りの分析については、これから検討を行っていきたいと考えております。</p> <p>暗い話ばかりでしたので、私のほうから明るい話題をさせていただきたいと思っております。</p> <p>インフラについて、東関道が今鉾田まででストップされていますが、2年後に開通します。これは非常に大きいことです。圏央道ができたことによって、沿線に工業団地が張りついたりしています。道の駅常総辺りもそうです。これに伴う効果も期待できます。</p> <p>それから、茨城空港の脇に朝日航洋というヘリコプターの車検、修理をする企業が、令和9年度に供用開始します。現在埼玉に工場があるのですが、移転ということで、従業員のみなさんが小美玉に住んでいただければありがたいと思っております。</p> <p>そしてもう一つは、茨城空港、今日も発表がありましたが、台湾の高雄と結ぶ連続チャーター便が就航します。茨城空港は大きな地域資源の一つなので、これを使った外国人の方の交流人口、あるいは関係人口が期待できます。交流、関係、定住と行くのが基本的な目標だと思っておりますので、その辺りもあつたらよいのかと思っております。</p> <p>それから、人の部分では、本年度から結婚・出産・子育てということを重要政策としてやっています。それぞれのパッケージで、結婚・出産・子育て支援までソフト的な施策をやっています。例えば中学校給食費の無償化とか、あるいは子ども18歳までの医療が無償化等々いろいろ手厚くしています。その辺りは市としてかなり力を入れているものの一つとして念頭に置いていただけると大変ありがたいと思っております。</p>
<p>委員</p> <p>座長 委員</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ITやデジタル視点のところでお話しさせていただきたいと思っております。</p>

<p>座長</p>	<p>先週アップルが iCloudに入っているデータを Chat GPT に連携すると発表しました。これが何かといいますと、我々は、今スマホではかなりの数が iPhone を使っていると思いますが、iPhone で使っているデータを全部クラウド上に上げて、そうすると、例えばですが、「今週暇なんだけれども、何かいいスケジュールない?」とか、「予定を何か作ってくれない?」と言うと、生成 AI が予定を作ってくれたりとか、多分その人に合った予定を作ってくれたりとか、そういうものが多分これから 3 年、4 年先には現実的なものになってきます。そうした時に、結局データというものがすごく重要なものになってくるのです。デジ田構想でもそうだと思いますが、結局 Society 5.0 というのはデータの利活用というところになります。このデータというものについて、どういったデータを今後集めていって利活用しようとしているのかというところを、もし具体的に構想があれば、ご説明いただきたいと思います。</p> <p>これはなかなか手厳しい意見です。私も同じこと思っていますが、おそらく、こちらが今後アンケートとも関わってくるかと思いません。</p>
<p>事務局</p>	<p>データの利活用で今、総務省から言われているのは、市民の幸福度、満足度をどういう数字で出すかということが一番ポイントになってきています。</p> <p>ウェルビーイングと先ほどありましたけれども、ウェルビーイングというのはずっと幸せだと感じる事なのです。ハピネスではなくて、ウェルビーイング、ずっと幸せだと。「この小美玉市に住んでいてよかった」、その数字を出しなさいと言われて、果たしてそれがどの数字を使うのかというのがポイントになってきます。</p> <p>ですので、ただアンケートで満足ですかと聞かれて、その数字がそのまま使っているのかどうかというのは、非常に危ういわけです。特に、今、市民課の窓口で「書かない窓口」というのが、他の市町村もどんどん導入してやっているのですけれども、窓口に来られるご高齢の方が何枚も何枚も申請書で住所・氏名・年齢を書いています。これを、マイナンバーを渡していただければ、こちらでスキャンして、もう申請書に住所・氏名・年齢が入っていると。ただ、それをやってもらってご高齢の方が、「楽になった、幸せだ」と思うかどうか。この辺りも本当に、そういうデータ、どういった方が役所に来られて、どういう年齢層で来られて、年間何件あるのかというデータの蓄積です。これは早急に本当にそのデータを取れる環境、これがまだまだ、小美玉市役所には足りない部分なので、そういった来庁者の満足度、あとは住んでいてよかったという幸福度。茨城県庁でも幸福度という数字を出すにも相当議論をしています。そういったところも、このま</p>

委員	<p>ち・ひと・しごとの中でも、デジタル田園都市構想の中でも、KPIという成果目標を、数字を出さなくてはならないので、今後いろいろな分野、福祉、教育でのデータの活用というのを、行革デジタル推進課のほうで、どういったところで数字を取っていくかというところは、これから考えていきたいと考えております。</p> <p>やはり、どういうデータをどう活用していくのかと、どういうデータを収集するのかということがもう既に決まっていなくて、これは今から5カ年計画でやられると思います。データの収集は、すごく時間とお金がかかるものになるので、今年きちんと決めて来年から動くとか、もっと具体的なスケジュール決めてやっていかないと、進んでいかないと、正直なところ思っております。</p> <p>あとは、もう一つはアンケートがそうなのかもしれませんが、市民向けにアンケートを取られるというところ、おそらく人口減少とかそういうところを食い止めるには、市民の幸福度だけではなくて、私が先ほどちょっと話しましたが、例えばSiriに「今週暇なんだけれども、どんな楽しいことが今週末ある？」と聞いたら、「小美玉に行ってください」と言ってくれるような、そういう環境があると、いろいろな人が多分小美玉に来てくれると思います。</p> <p>その時に来て「いいな」と思って移住する。移住するにも、別にそこで働く必要はないと思っています。私は基本リモートワークで、本社は東京です。水戸には支店があって水戸にも行ったりはしますが、リモートワークでやっていますので、今の大きい企業、特に大きい企業の事務方のところは今、8割、9割リモートワークなのです。うちの本社のところも、ほぼほぼ人はいないです。今、茨城の本当に北のほうなどは、結構日立の工場なども多いと思いますが、もう半分以上はリモートワークをされています。</p> <p>ですので、「仕事というものはどこに住んでいてもできる」というような環境が、今はもう実際のところ世間的には整っています。工場で作るような現場仕事については少々難しいですが、実際に事務の方などはリモートで仕事ができているのです。そういった方々に、市外から来て小美玉市でリモートワークをしてもらうような、そういう施策を考えていらっしゃるのか。もしあればお聞かせいただきたいと思っています。</p>
座長	<p>そう言ったところもあり、市民向けだけでなく、市外の人向けのアンケートも今後考えていってもよいかと思いました。</p> <p>今は携帯1台で行動というものは分かります。ただ、すごくお金がかかるということ。私自身がそうなのですが、選挙を研究していますので、その際にデータをいただきながら分析するというのを今後やっていこうと考えています。しかし、相当なお金と手間暇と、入力した</p>



後の分析作業も本当に時間がかかるので、結構大変なのです。

そういった意味で、集めようと思えばお金さえあれば集められますが、なかなか受け入れる体制が難しい。やはり外部を頼ることが大切かと思えます。内部だけで完結するのではなくて、アウトソーシングといいますか、そういったものをぜひ活用していただきたいなということです。ただ、お金がかかるので、デジ田を使うというのはありかもしれませんが、そこは少々補足したい点です。

委員がおっしゃった中の一つで、高校生も小美玉に愛着があるのでそれは大切にしてくださいということですが、これは全くそのとおりです。これから小美玉市では、総合戦略をつくるにあたって、デジタル、AI、ICTというものを使うとおっしゃっているわけです。国はそこで心豊かな暮らしウェルビーイングとか、イノベーションとか、そういうことを言っています。後ほどの話になりますが、アンケートからそれがあまり伝わってこなくて、要するに総合戦略をつくるに当たって、このアンケートをやるのであれば、もっと戦略的に物を考えなくてはいけなくて、それが反映されていないところがあるので、もう少ししっかりやってほしいというところがあります。

もう一つは、前の総合戦略を見たのですけれども、書いてあることをやっていないというのが一つありました。例えば、これから高校生などが働くといった場合に、小美玉市ではデジタルだという話をしていくわけですが、前の総合戦略などを見ると、デジタル、AIというものを使った施策も書かれているのですけれども、「本当にやったのか」ということが一つですね。

その際に、言うてはいけないのは、これは検討しましたというのはよくなくて、検討した上で総合戦略を作っているわけです。検討すると、また検討しているのですかという話になります。これは議会のほうでおそらく揉んでいただけたらと思いますが、今回の総合戦略に関しては、書いてある、では本当にやらなくてはいけない、ということです。

加えて、今回については、市長も副市長も変わった、そして、一番大きいのは、ふるさと納税が大幅に増えたことがあります。県内でも上位の方にあり、来年度もかなり期待できるということで、小美玉市は相当変わったのだなということは、私は個人的に感じているところでもございます。なので、今回の総合戦略についても、ご意見頂戴で終わり、あるいは事務局の中で意見をいただいて、それを検討しますということではなくて、本気になってやるということメッセージとして私は受け止めているところでもございます。ぜひ皆さまにおかれましても、言って終わりではなくて、それをどのようにして受け止めるのかという、前向きな意見もぜひいただきたいなというところ

委員	で、私からのお話としてさせていただきます。
事務局	<p>では、ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>こちらの今、出てきている前提として、人口や転入・転出のところに、労働されている、例えば外国から来られている研修生の方とか、そういう方の数字というのは、入っているのでしょうか。</p>
委員	<p>国勢調査の結果を用いているものに関しましては、我が国に3カ月以上滞在している方であれば人数として含まれています。</p>
委員	<p>そうすると、今、労働現場で研修生とかそういう方の出入り、コロナの時のデータはあまり移動ができなかったと思いますが、コロナ明けからの、また、動きも少々変わっているような数字になっているということでしょうか。</p>
座長	<p>雇用を創出するということも必要になってくるところで、外国の方が現場で活躍している、それはいいことだと思います。私ども金融機関、銀行なのですが、給与振り込みなどで口座を作成していると、結構外国の方が窓口に来店されることもありますので、そういうところは感じています。どれぐらいの外国の方が、この数字に占めているのか、そういうところも見えるようなデータがあると、また別の見方もできるかと思えます。質問というわけではないのですが。以上です。</p>
事務局	<p>先ほど委員のほうからありましたけれども、外国人実習生という意味で、小美玉市というのは1次産業が非常に盛んで、やはりそのベースとなっている部分として農業、酪農とか畜産が多数あると思います。数字を集計して、実際応用していく中で、やはり1次産業という部分は、きちっと確認しながら、計画の中に入れていったほうがよいと、今日話を聞いていて感じていました。ですので、改めてではないですが、意見を述べさせていただきます。</p>
座長	<p>ありがとうございます。今日でもう終わりということではなく、今後検討していくということでございますので、皆さんには、積極的にご参加いただきたいということを改めてお話しさせていただきます。</p>
事務局	<p>もう1件、アンケートの方もございますので、次の議題に移らせていただきます。アンケートの実施に関して、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>6 協議事項</b>  <b>(2) アンケート実施について</b>  &lt;資料6を説明&gt;</p>
座長	<p>アンケートに関しての説明です。これに関して何かございますでしょうか。</p> <p>多々ありますが、これは個別に伝えます。アンケートは大切に、こ</p>

れからデジタルというのをしっかりやっていくという小美玉の考え方があるわけですから、それも踏まえた上で、考えていく、設計していく必要があります。要するに戦略的に考えるということです。

例えば、高校生の質問もあります。これもデジ田でイノベーションとかクリエイティブという話はしているわけですので、問3などの中にそういった設問も当然あってよいと思います。要するに、クリエイティブな仕事がしたいとか、AIを用いた仕事がしたいとかそういった話があつてしかるべきなのです。あと、自分の専門が生かせることとありますが、普通科の生徒からしたら、自分の専門とは何だろうというところもあります。もう少し高校生に試験的に答えさせてみて、意味がよく分からないところがあれば、そこも直すべきだと思います。

あとは、「3つまで選んでください」という点ですが、3つで足りない人たちはどうするのかということもあります。例えば子育てがしたくてもできない、という話があります。それこそ、働く世代になるまで育て上げるのに20年かかると言われていますが、世界の場合だったらベビーシッターとか両親とか友人だとか、さまざまな子育てで困ったときに頼る人がいるのだけれども、日本の場合は、既に社人研が分析しているとおりに、そのバリエーションが自分の両親しかないということが既に明らかになっているところです。これを改めて聞くのであれば、さらなる何らかをもっと考えた上で作らなくてはいけません。要するに、社人研で分析しているわけなので、それも踏まえた上で作るべきです。「社人研で言っていたとおりに小美玉でもそうでした」では、何の意味があるのかということになります。これまでの既存の分析については、しっかりと見た上で、もっと戦略的に作らないといけなと思います。

繰り返しになり恐縮ですが、「3つまで」ということがありますけれども、これもあまり根拠のない話です。あとは、「子育てをしながら働きやすい企業がない」ということを書いていますが、これはダブルバーレルといって、2つのことを回答に書いてはいけないということに明らかに反しています。これも直さなくてはなりません。というようなことが、細かく言えばたくさんあるので、そういった意味できりがないので個別に伝えます。

大きなところでぜひ皆さんに聞いていただきたいです。それこそ、これから家にいて仕事をするというのは当たり前になっていて、実際に水戸市では、水道使用料がコロナ以降、人口減にもかかわらず増えています。これは家にいる時間が多いからです。電力量もそうです。これは、私の指導する学生が分析作業をし始めまして、それで分かっているところもございます。デフォルトではないですけれども、これ

	<p>からテレワークというものが家にもできるということ、そういったことを考えた上で、職業を選ぶ際にも影響があると考えてみる。もっと言うならば、長期的な戦略でもありますので、その先を見据えた上で企業誘致を考えなくてはならないというところもあります。これはまた、事務局にご相談させていただきます。</p>
委員	<p>皆さんで何かございますか。</p> <p>今回のアンケートは、紙の媒体でのアンケートということでしょうか。デジタルといいますか、QRコードか何かできるのか、確認させてください。</p>
事務局	<p>調査方法についてですが、市民アンケート、配布・回収の方法を資料1ページ右に記載しております。</p> <p>学校で使用している連絡用アプリを活用し、QRコードでWeb上で回答していただく方法と、それから、調査案内の二次元バーコードを抽出された市民の方にお送りし、Web上で回答するという方法となっています。案内の部分だけは紙でご案内させていただくことを想定しています。</p>
座長	<p>回収率を高めるための努力はされているのでしょうか。そちらの方が大切なので。</p>
事務局	<p>付け加えまして、まず一番の市民アンケートの13問についてです。今までは実施していなかったのですが、今回学校の協力を得まして、学校を通して保護者の方にご案内するような形をとりたいと考えております。</p>
座長	<p>実際にこういった計画のアンケートを取ったことはないのですが、他のアンケートを各学校で行った時に60%以上の回収率があるということでした。先ほど説明したとおり、前回のこちらの計画の無作為抽出でのアンケートは大変低い回収率になってしまったので、今回は学校の協力を得ながら進めていきたいと考えてございます。</p>
	<p>高校生は大切だと思います。前回も特に18歳、19歳の回答率は非常に少なかったのです。高校ではいろいろな取り組みをされていて、愛郷心であるとか、愛着心ですか、ああいったところも頑張っておられます。</p> <p>ある九州の自治体ですが、中学校卒業とともに、家族ごと移住するというところになっていくところもあります。そこは、何故手をつけなかったかという、「県立高校だから、うち関係ない」というような話をしていました。そういった本当に危険な事態も起こるわけです。中央高校は小美玉市唯一の県立高校であるということで、いろいろと、既に取り組みはされていると思いますが、この意見というのは非常に大切なところもあると思いますので、力を入れていただきたいというのがございます。</p>

事務局	<p>高校生世代のアンケートにつきまして、魅力発信課のほうで7月3日に中央高校にお伺いして授業をする機会があります。高校生世代は無作為抽出以外に、その際に同様のアンケートを行うことを考えおります。1学年190人ほどと聞いておりますが、同じものを第2学年、第3学年にも実施します。中央高校生は、小美玉に住んでいない方ももちろんいらっしゃると思いますが、そういった方々がどう考えているのかというところと、小美玉市に住んでいる高校生はどう考えているのかといった、そういった違いの部分についても分析できるようなアンケートの実施を考えております。</p>
委員	<p>アンケートが、私は内容的にあまり分からないのですが、ここに小美玉らしいことは入れてもよいのでしょうか。それとも一般的な設問の方がよいのでしょうか。例えば、空港のこととか、住みたくない理由で騒音が嫌だとか、においが嫌だとか、そういうのが入るのはどうでしょうか。</p>
座長	<p>確かに職業の話が多いので、それ以外の要因というのも考えるべきではないかというご意見でした。</p>
委員	<p>そもそも最初から就職するつもりでいるようなので、就職するのか、高校生だったら進学するのか、まずそこから分けられると思うのですが、その辺りは調べているのですか。</p>
座長 事務局	<p>おそらく、中央高校の実績を考えているのではないのでしょうか。 高校生は進学のほうが多いのではないかと考えています。 先ほど説明させていただいた高校生世代アンケートのほうで、500人の無作為抽出ということで、そちらを高校生世代に実施します。進学する方が多くいらっしゃると思いますが、中学を卒業して就職した方も中にはいらっしゃると思います。それに加えて、市内にある中央高校の学生さんたちにも、併せて、アンケートを行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>基本的に思うのですが、やはり、このまち・ひと・しごとの目的というのは、人口減少をいかに抑えるか、あと、地域経済をいかに発展させるかというような大きなお題目があるのです。そのためにどういう策を練るかということだと思っております。 この市民アンケートは住んでいる方の意識調査に限っています。人口減少、今、地域間競争の時代なので、いかに他の市町村から、あるいは首都圏、東京から呼び込むか。あるいは、テレワークなど先ほどありました。一つ抜け落ちているのが、市外の方について。市外の方が小美玉をどう思っているか。例えば、横浜ゴムさんとか、本社の方がこちらに住みたいだとか、あるいは中央高校じゃなくて、水戸の高校生など外部の方の意向を聞いてみる。小美玉市にないものが何か、と。先生もおっしゃいましたけれども、実効性のある、足りない施策</p>

<p>コンサル</p>	<p>をこの中で明らかにしていくということが大事なのかなと思います。</p> <p>市民の意識調査をやっても、もう既に住んでいる方です。そこはウェルビーイングという考え方がありますし、それはそれでいいと思います。住み続けるということも大事ですが、来ていただくということ、これが一番大事なのです。それが人口減少を緩やかにする。地域間競争の時代だと思しますので、これはコンサルさんに聞きたいです。そういう市外の方向けのアンケートは、テクニク的にはできますか。よろしくお願いします。</p> <p>外部の方からの意向を聞くというのは、市民の方にアンケートをとってもできないのですが、広くサンプルを持っている企業さんがありますので、そういったところをお願いをすれば、例えば、県内でどれくらいの人が小美玉市に定住意向があるかとか、そういったことを聞く方法はございます。それはインターネットを活用して聞くという方法になるかと思えます。</p> <p>サンプル数を設定することもできますので、1,000票の、1,000人のサンプルを集めたいというようなことをすることも可能です。ただ、それは同じようなアンケート調査の中ではできないので、また改めて設計していく必要があると思えます。</p>
<p>座長</p>	<p>水戸市の高校に関しては、いばたん（茨城の魅力を探究し発信する高校生コンテスト）で協力している高校がございまして、サンプルは4件あって、それはご協力できますので、提出します。</p>
<p>委員 座長</p>	<p>そういうことも必要かと思えます。</p> <p>ええ。これに関しては、私のほうで協力させていただきます。</p> <p>他にいかがでしょうか。お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>この調査対象を世帯数であったり、2,000人を抽出という数自体の根拠をお伺いしたいと思っています。幅広く、もっと多くできないものなのか。「この期間に実施するのであれば、これぐらいの人数」ということからきているのか、その辺りの根拠も教えていただきたいのが一つです。</p> <p>あともう一つ、細かい話で大変恐縮ですが、例えばアンケートの2ページ、問4です。職業を選ぶ際に重視したいポイントを教えてくださいということですが、これをお聞きになられて、小美玉市さんの施策に生かせる回答があるのかどうかというところが疑問です。おそらく1番の、「満足できる収入が得られること」が明らかな答えなので、そういうふうになってしまっています。</p> <p>むしろ質問の内容と答えの内容が、施策に生かせる内容にされたほうがいいのかという気がしますし、一般的にはこういったアンケート調査というのは、いろいろなところで行われていますから、それを参考にすればいいような話かと思ったので、その二点をお伺いしたいと</p>

<p>コンサル</p>	<p>思います。</p> <p>サンプル数についてのご質問に対して回答させていただきます。</p> <p>まず、市民アンケートの13問のほうですが、こちらは保護者の方2,324世帯というのは、現在、通っていらっしゃる児童生徒数の世帯数ですので、こちらについては全数、調査をお願いするという形でございます。</p> <p>14問の18歳から39歳の市民の方の2,000人を無作為抽出というのは、およそ30%回収できずと、大体600人程度のサンプルが取れます。600票ほどありますと、一応統計上4～5%の誤差で信頼性が確保できるであろうということで、2,000人を無作為抽出というふうに設定させていただいております。</p> <p>高校生世代のアンケートにつきましては、こちら高校生の数に対して500人程度であればということで設定しております。そのほか、先ほどご説明もありましたが、回収数を上げる工夫としまして、追加で中央高校に依頼していただくということでございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>問4のほうの回答ですが、例えば「テレワークにより好きな場所で働ける」といった回答が多いところが取れた場合についてです。委員のほうからお話があったかと思いますが、サテライトオフィスではないですけれども、コワーキングスペース的なものの整備を進めていくという施策を、市として行っていくことも考えられます。また、例えば10番の「家業の継承等」を考えている方が多い場合は、自分の家業の継承に対する支援というところに力を入れていくといった部分で、その結果を反映できるところがあるかと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>せっかく市民にアンケートを取るのであれば、アンケートに答えてくれる人というのは、それなりに協力的な方だと思います。例えばですけれども、もう少しフリーアンサーで、「今、小美玉市にこんなデジタルサービスがあるとうれしい、といったものはありますか」など、そういうことを聞くのもありかと思っています。</p> <p>なぜかといいますと、この間、子どもの医療費の返還で、紙で請求のやりとりをしたのですが、正直なところ口座などの子どもに関する情報は交付金などですでに登録されていると思うので、デジタルで全部済むはずなのです。なのに、それを紙でやりとりして、個人的に面倒くさいと思ったので、こういうことをできればよいと思います。</p> <p>あと、今日この後、多分マイナンバーカードの紙を出すと思うのですが、口座のものを出すと思います。そういうものも何故紙で出さなければならないのだろうと、正直なところ思っています。子育て世代の人はもうスマホに慣れているので、かなりいろいろな手続きを紙でやりとりしているのは煩雑だと思っているという意見を、実際に私も聞きます。そういうことに対して、こういうものが欲しいというのを、</p>

座長	<p>例えば聞くのもありかと思いました。</p> <p>最後に、例えばこれからの小美玉の市政に関して、今後もご協力いただけますか、いただける場合はご連絡先のほうを教えてくださいませんかとやる。アウトリーチの手法で、その人たちが次世代のリーダーになったり、あるいは有力な地域の担い手になったりというようなことを考えるというの、もしかしたらあるかもしれないです。ご検討いただければ幸いです。</p>
委員	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>私もずっと仕事でアンケートをたくさんやってきましたが、集計が一番大変だと思います。今回Webのフォームを主に使うと思いますが、そうすると母数の限定は不要なのではないかと思います。エクセルですぐに計算できるので。配布は大変ですけども。一方で、QRコードの配布は、印刷物で1個のQRコードをみんなに配るかだと思います。おそらく、後ろのパラメーターを一つ一つ変えるなどはできないと思います。なので、複数回答が起こりうるアンケートになると思います。それほど精度が高いことはできないと思います。</p> <p>なので、そうであればもっと人数の制限はなくてもよいのではと思います。デジタル化と言っている部分は、みんなが参加しやすくなっている部分なので、市報にQRコードを載せてしまえばよいのではと思うところはあります。</p> <p>逆に本当に人数を絞るのなら、きちんとユニークな回答をもらえるように仕組みを作らなくてはならない。技術的なつまらない、重箱の隅をつつくような話ですが、割と緩くてもよいのでしたら、もっといろいろ、参加して楽しいような項目があってもよいのではと思っています。</p> <p>あと、これは個人的に思うことですが、近所、JAさんと直売所で野菜を普段買っているのですが、やはり物価が全然違うのです。県内で見ても、野菜の値段や充実度合いが全然違って、これは結構誇れることだと思うのです。直前まで県南のほうにいて、千葉県沿いなど産地によって出てくるものが違うのですが、石岡、小美玉は何でも採れて、生産地価格で買えるという魅力があります。水戸の直売所などに行っても、申し訳ないですけども、この辺りのレベルに比べると、ものが全然良くなって、値段も良くないのです。</p> <p>この辺りに住んでいる人は多分何も感じていなくて、スーパーなども、今ヨークベニマルなどは地元のを置くコーナーがあったりして、普通にそこで「ああ、誰さんの」と、誰だか知らないけれども、何となく名前を見たことあるな、と買うと思います。そういうところの満足度みたいなものが、さっき1次産品っておっしゃっていましたが、周りから見ても、結構いいところだというのが、とても感</p>



座長	<p>じる部分です。数字をとって比較してみると、かなり家計にメリットをもたらしてくれていると思いますし、すごく誇れるものだと思います。例えばアンケート、どういう手法にやるかにもよりますが、個人的には文句があって出ていった人は何も市に対して言ってくれないと思います。別に文句があるわけではないけれども、実家が小美玉市内にあって、諸事情や仕事で東京に行っている子ども世代などというのが帰ってくる時があるので、そういう時に東京の住みにくさと、実家のほうは、この辺りがよいといった、差みたいなのが取れるといひかなというところです。</p> <p>ただ、将来、こういう差があって、生活費もこんなに抑えられますみたいなのが、何か分かるようなものを少し入れていってもらえるとよいと思っています。</p> <p>扎扎实り小美玉のPRをしつつ、設問の中に入れておくというのは、もしかしたらいいかもしれないですね。それで、意外に小美玉への愛着が、というようなこともあるかもしれません。ある意味アンケートを通じて教育といいますか、そういったところもあるんだというのは、これはいいですね。</p> <p>ありがとうございます。では、まだ尽きないところがありますが、もう時間ですので、追加でご意見等ございましたら、事務局のほうにお寄せいただくということによろしいでしょうか。</p> <p>では、議題は以上とさせていただきますので、その他ということで、事務局より何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p><b>7 その他</b></p> <p>その他として一点ほど事務局よりご連絡がございます。</p> <p>本日お配りした資料の7、本市では、DX推進計画に基づいて行政のデジタル化を進めております。その取り組みの一つといたしましてタブレットを活用した会議資料のペーパーレス化を進めております。ペーパーレス化によって経費の削減が図れるなど、次回以降の会議においては、紙資料ではなく、データ資料としまして、市専用タブレットを活用しての会議開催を考えております。</p> <p>今後の会議資料の送付方法についての意向の確認票を用意させていただいております。お手数ですがご回答いただきまして、お帰りの際、事務局のほうまでご提出をお願いします。</p> <p>また、この取り組みについて、現時点で何かご質問等ありましたらお伺いいたします。</p>
座長	<p>次回以降、紙媒体で引き続き行うか、あるいはデータで行うかということで、意向を記入のうえ、事務局へお出してください。また、不明な点ございましたら、事務局へご質問していただけたら幸いです。よ</p>

事務局	<p>ろしくお願いいたします。</p> <p>必ずしもタブレットを希望しないという方もいらっしゃると思います。横に広げて見たいという方もいらっしゃると思うので、そこは、ご希望に沿って対応するという考えておりますのでお願いします。では、司会は以上ということで、事務局にお返しします。</p> <p><b>8 閉会</b></p> <p>最後に次回の会議についてのご連絡をさせていただきます。</p> <p>次回につきましては、8月19日月曜日の午後1時半より開催を予定しております。会議のご案内につきましては、改めてご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは長時間、大変ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第1回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会いたします。大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p>
-----	---